

令和4年度 自治会アンケート調査 集計結果

○アンケート実施期間：令和5年1月13日(金)～令和5年2月24日(金)

○対象者：区・自治会長(119名)

○回答件数：114(町内会長1名含む)

アンケート調査数

回答数	豊岡	東金子	金子	宮寺・二本木	藤沢	西武
114	34	23	11	17	18	11
	30%	20%	10%	15%	16%	10%

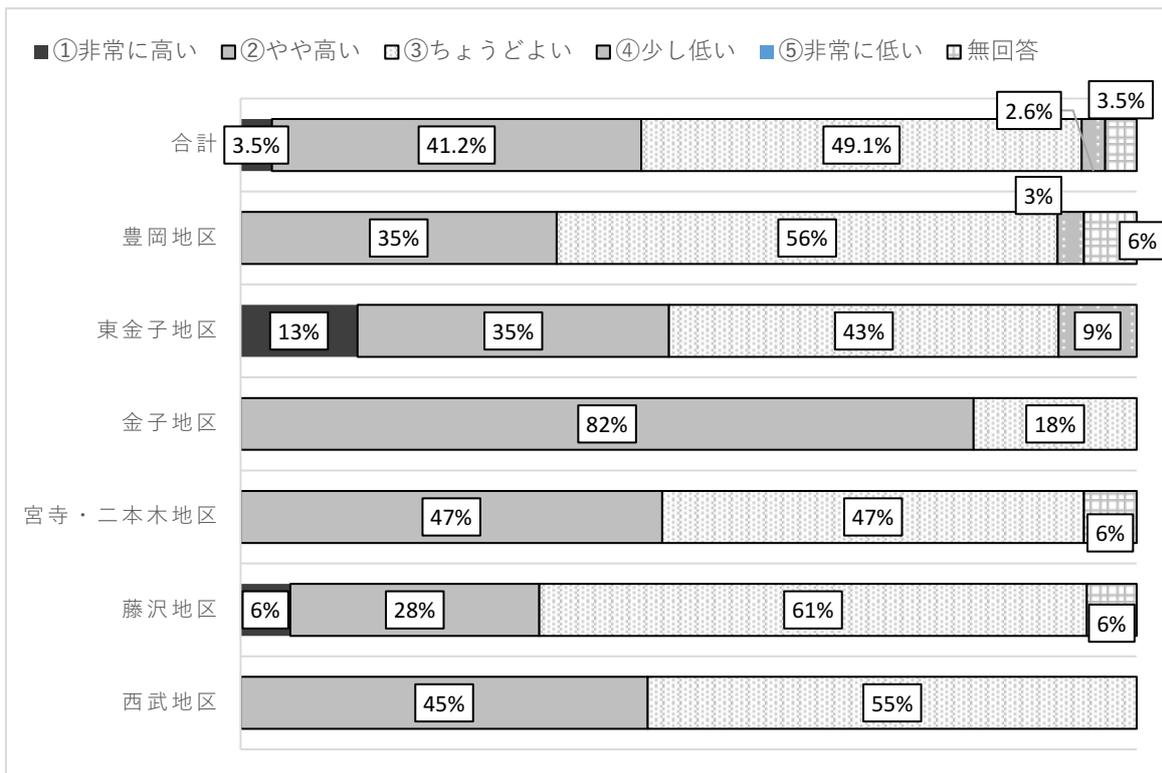
会長の職業

回答数	会社員	自営業	公務員	無職	その他	無回答
114	24	12	4	52	21	1
	21%	11%	4%	46%	18%	1%

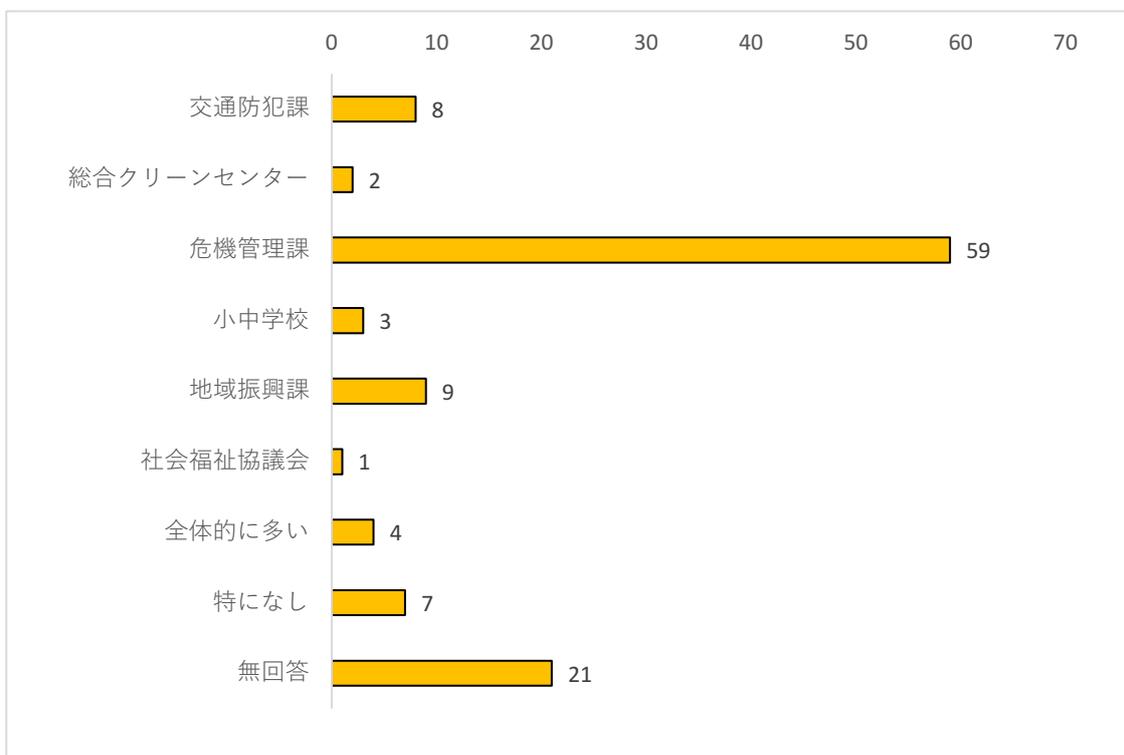
【調査項目1】

(1)市の自治会への依存度についてどのように感じますか。

	回答数	①非常に高い	②やや高い	③ちょうどよい	④少し低い	⑤非常に低い	無回答
合計	114	4	47	56	3		4
		3.5%	41.2%	49.1%	2.6%		3.5%
豊岡地区	34		12	19	1		2
			35.3%	55.9%	2.9%		5.9%
東金子地区	23	3	8	10	2		
		13.0%	34.8%	43.5%	8.7%		
金子地区	11		9	2			
			81.8%	18.2%			
宮寺・二本木地区	17		8	8			1
			47.1%	47.1%			5.9%
藤沢地区	18	1	5	11			1
		5.6%	27.8%	61.1%			5.6%
西武地区	11		5	6			
			45.5%	54.5%			



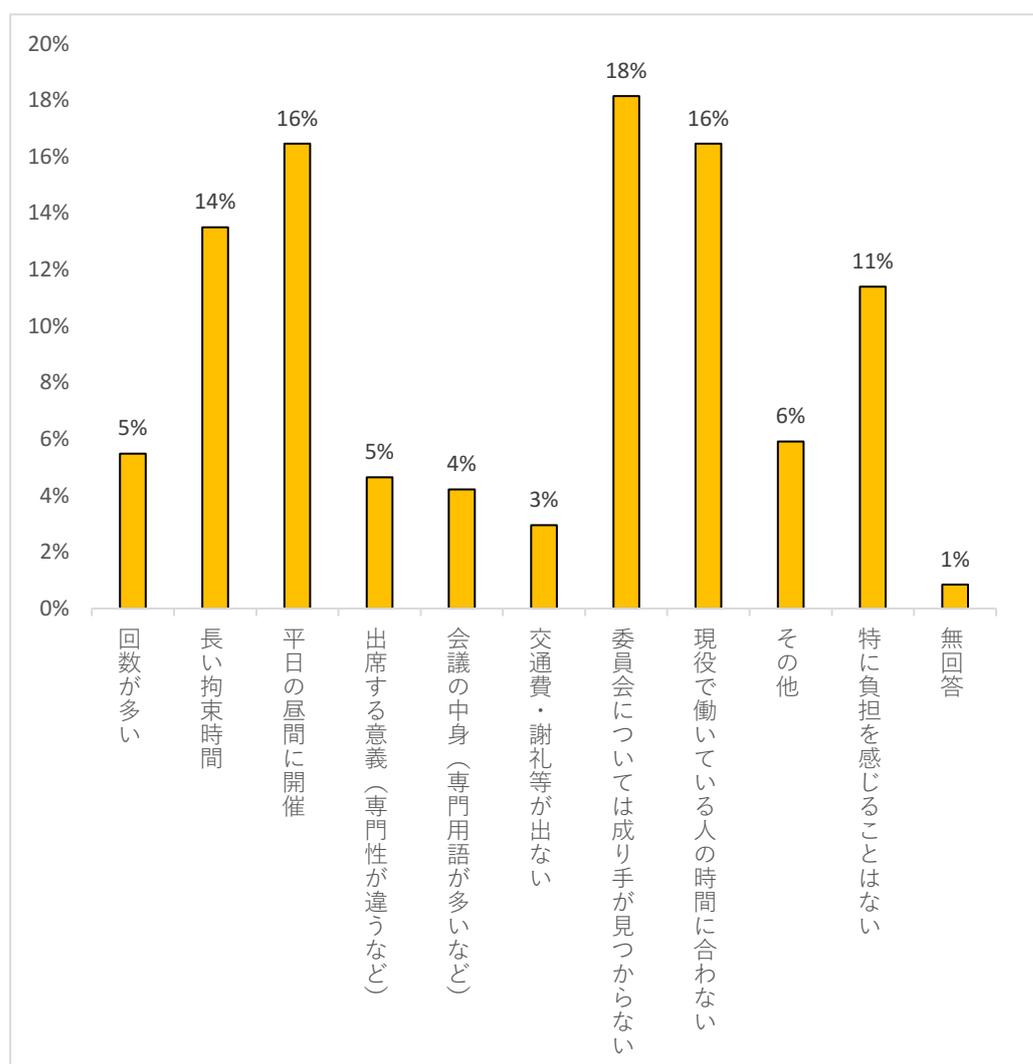
(2)市のどの部署や課からの依頼が一番多いですか。



(3) 市からの会議、委員会等への出席依頼についてお伺いします。平均して月におよそ何件程度ありますか。

回答数	5回以下	6～10回	11～15回	16～20回	21回～	無回答
114	97	15	1			1
	85%	13%	1%			1%

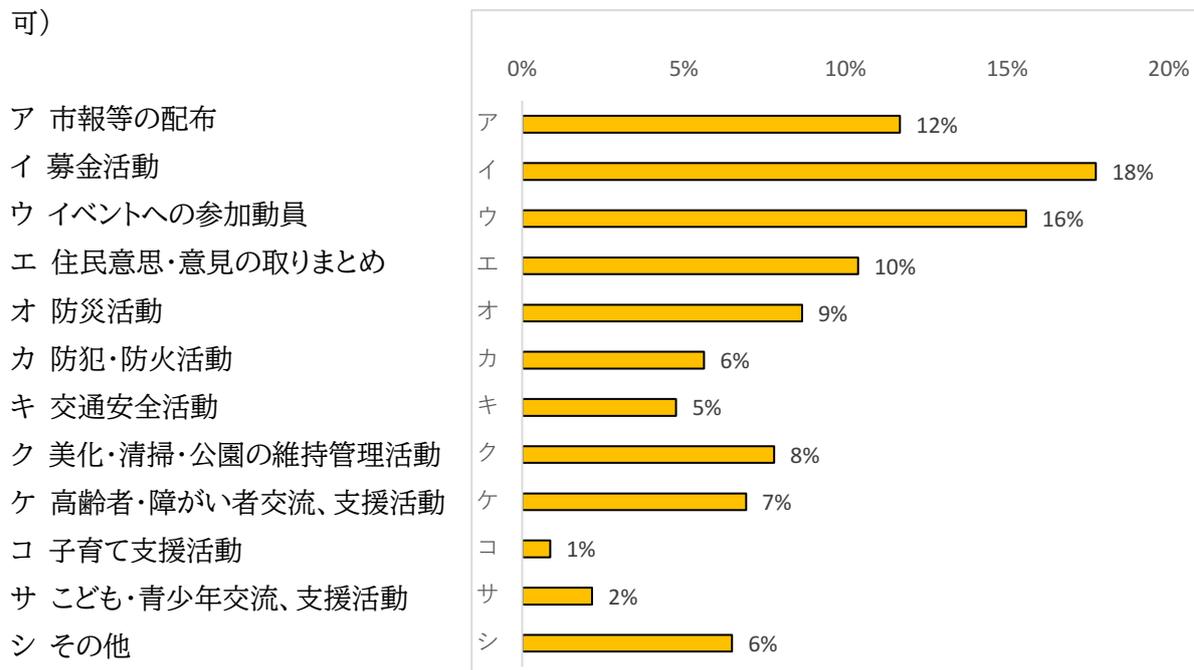
(4) 会議、委員会等への出席依頼について、どのような点が負担に感じますか。(複数可)



(その他の意見)

- ・なり手がいないため一人の人が掛け持ちになりやすい
- ・形式的な会議もある
- ・本当に地域の代表者が必要な会議なのか理解できない

(5) その他の市と関わりがある活動等について、どのような活動等に負担を感じますか。(複数可)



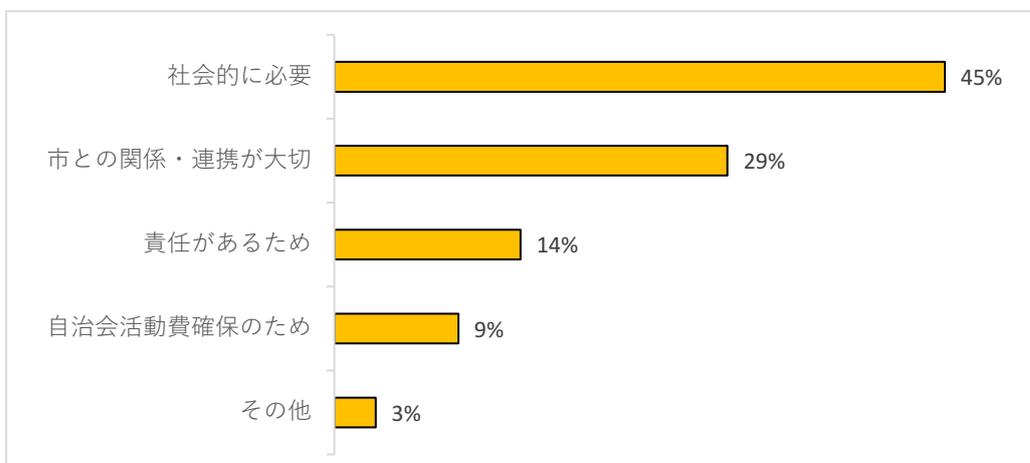
(その他意見)

- ・お金のやりとり
- ・各委員の選出
- ・参加する住民の固定化と高齢化
- ・市報の配布は自治会の存続の為にもやるべき
- ・自治会加入勧誘・ごみ集積所問題・各種書類の提出
- ・地域全体の高齢化がすすみ、毎月実施する清掃活動が
- ・不老川兩岸遊歩道の草刈り作業
- ・防災・防犯への啓発活動ボランティア不足による役員の負担(交通防犯)

(6) 負担が大きいと感じる事業等について、今後どのようにしたいとお考えですか。

回答数	継続する	改善を望む	辞退したい	無回答
114	74	26	6	8
	65%	23%	5%	7%

(7) 「ア 継続していく」と回答した方の理由（複数可）



(その他の意見)

- ・事業を通じて組会員との交流のため
- ・自治会加入のメリット感を持たせる為にも継続していきたい
- ・地域内の子どもは地域の宝であり、皆で見守り育てることが必要と考える

(8) 「イ 改善してほしい」と回答した方の主な意見

- ・活用できる自治会役員活動マニュアルの作成配布
- ・自治会と市の連携体制の構築(窓口の一本化・地区防災担当制度)
- ・スポーツ大会等に関する意見(参加者不足、イベント開催の在り方の検討)
- ・デジタル化に関する意見(市報・HP等の強化)
- ・各種説明会等に関する意見(地区公民館等での開催)
- ・市からの依頼事項の削減や、審議会委員等の役員削減に関する意見
- ・募金の集金に関する意見(役員負担軽減)
- ・市報等の配布に関する意見(量の削減、業者に委託してほしい、新聞折り込み等にする)
- ・公園の維持管理に関する意見(補助金制度、業者へ委託)

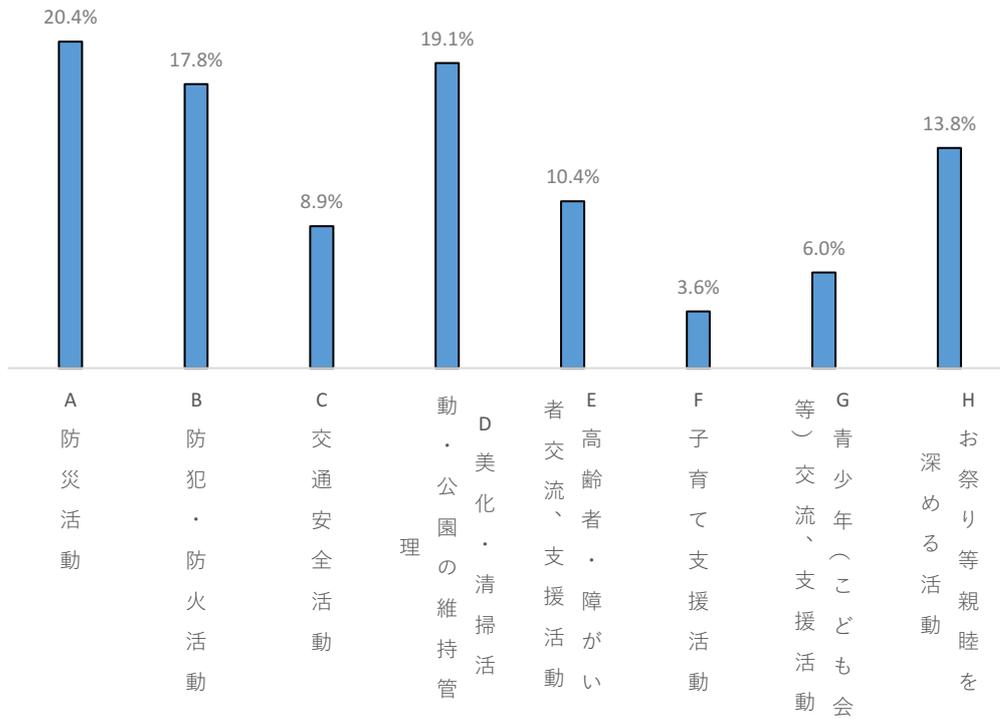
(9) 「ウ 辞退したい」と回答した方の主な意見

- ・募金の集金方法に関する意見(役員負担軽減)

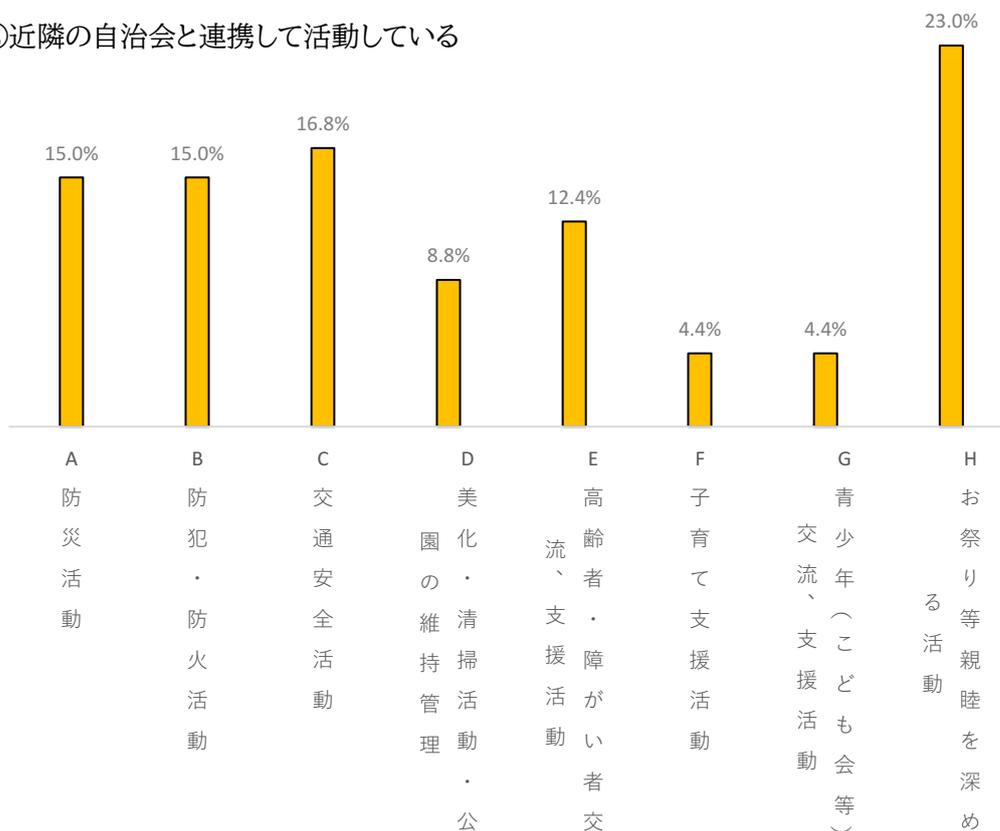
【調査項目2】

(1) 【自治会の活動について】

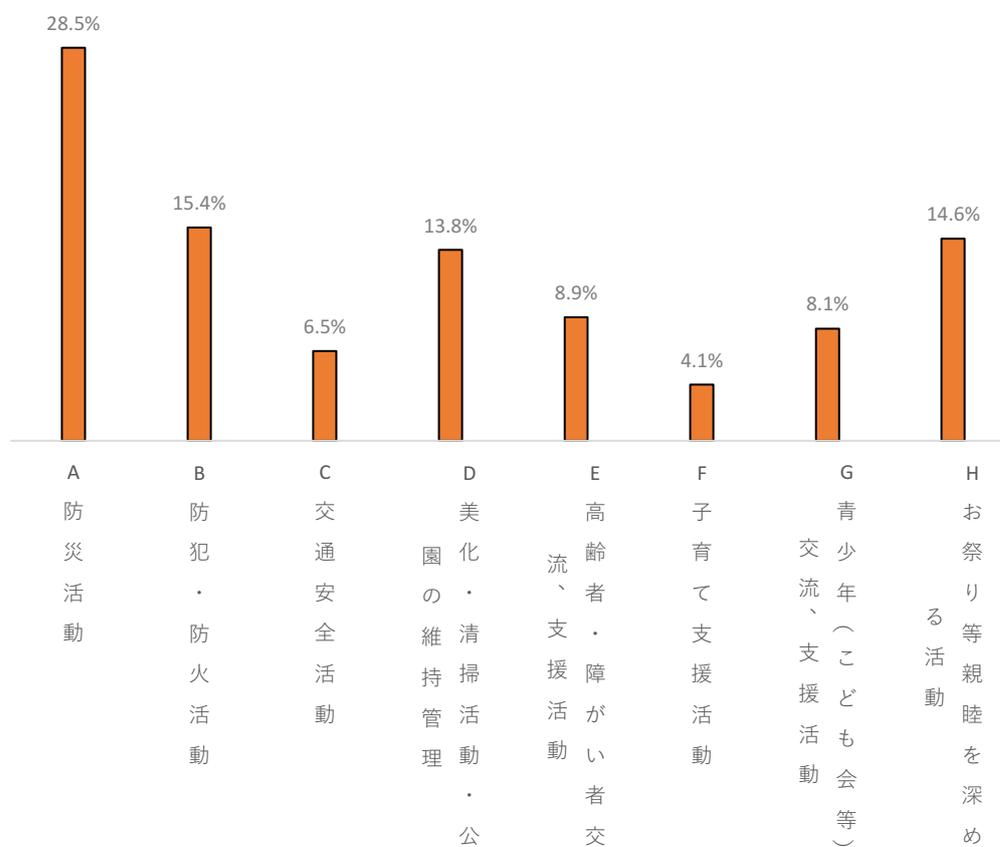
①自分の自治会単独で活動している



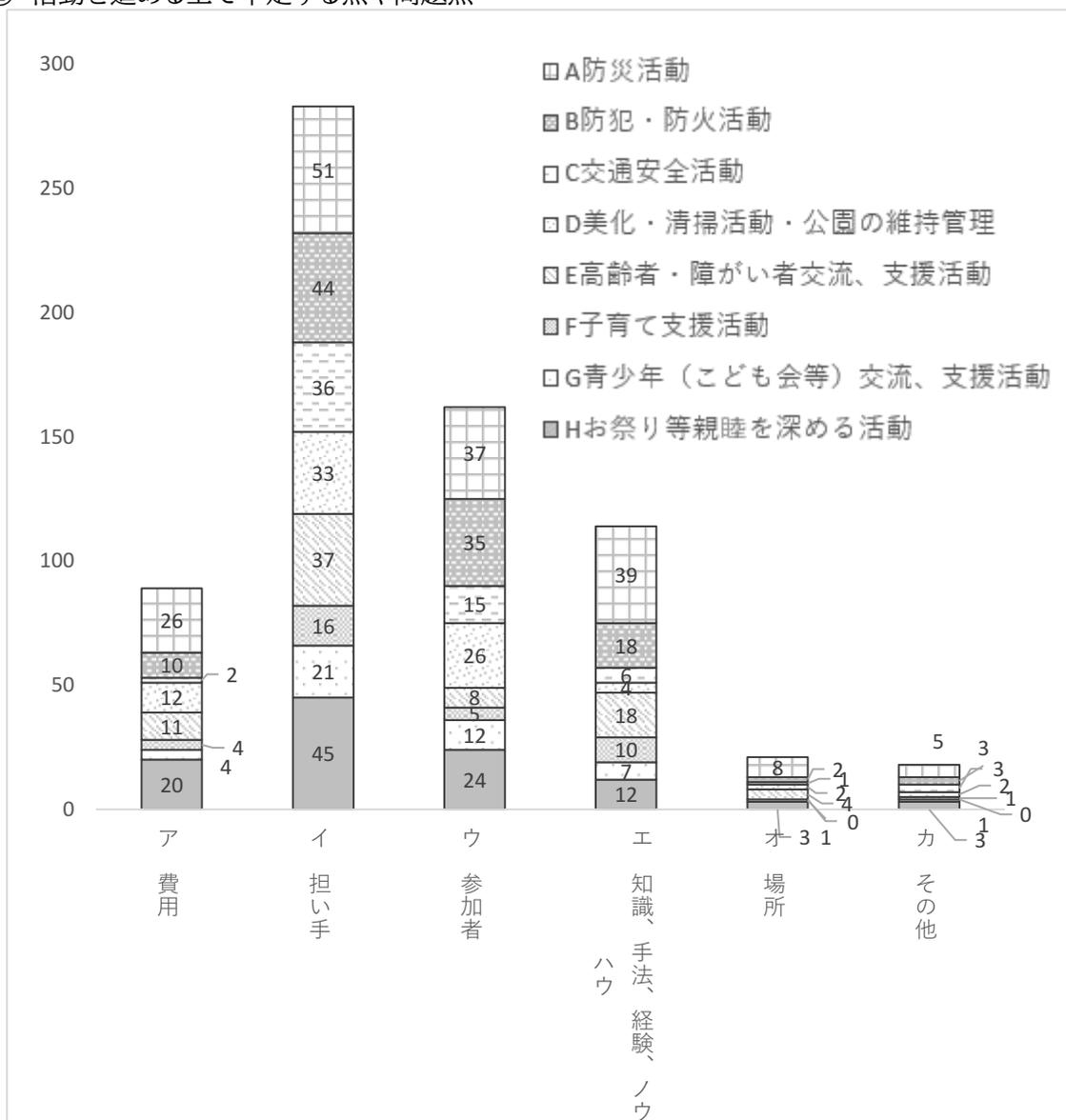
②近隣の自治会と連携して活動している



③現在の活動を今後はさらに力を入れて取り組みたい



④ 活動を進める上で不足する点や問題点



	A	B	C	D	E	F	G	H	合計
ア 費用	26	10	2	12	11	4	4	20	89
イ 担い手	51	44	36	33	37	16	21	45	283
ウ 参加者	37	35	15	26	8	5	12	24	162
エ 知識、手法、経験、ノウハウ	39	18	6	4	18	10	7	12	114
オ 場所	8	2	1	2	4	0	1	3	21
カ その他	5	3	3	2	1	0	1	3	18

(2) 今後、縮小もしくは廃止(休止)したい活動はありますか。

ア ない	78件
イ ある(活動内容と理由)	27件

(あると答えた方の活動内容や問題点)

- ・夏祭り(高齢化、役員不足、コロナで中止)
- ・子ども会育成会
- ・母子愛育会
- ・地区の交通安全協会委員
- ・広報を自治会から配布から全戸配布へ(役員の負担軽減)
- ・スポーツ協会(高齢化、自治会費から出費増)
- ・パトロール活動(役員の負担軽減)
- ・敬老会(コロナで休止中、代替案を考える必要あり)
- ・小学校の下校時の見守り(引き受ける人がいない)
- ・親睦旅行(高齢者のニーズが高いかと思われるが、アンケート調査等はしていない)
- ・防災訓練(自治会単位での実施の検討)

(3) 今後、新たに活動したいことはありますか。また、活動を始める上で問題点や課題等があれば併せて教えてください。

ア ない	72件
イ ある(活動内容と問題点)	30件

(あると答えた方の活動内容や問題点)

◎子ども関連

- ・子育て支援活動、親世代への自治会勧誘(専門的な知識、力量の把握、ニーズが不明)
- ・小学生の登下校時の見守り活動(役員不足)
- ・子供に対する祝い金の支給(出生、入学、卒業)
- ・こども会との交流会(担い手不足、保護者、参加者の調整難しい)

◎交流事業

- ・新しい運動会、ウォーキング大会(体育祭の変わりとなる事業、参加者不足・運営負担の増加)
- ・会員が交流できるイベントの実施

- ・会員のよろず相談(役員不足)
- ・自治会だよりの発行
- ・親睦を深める活動・コロナ後の再開(スタッフの確保・区民への説明・理解)
- ・運動会、夏祭り(コロナでの対処のしかた、動員の方法と安全なやりかたが課題)

◎高齢者支援

- ・高齢者対象の健康ラジオ体操(役員不足)
- ・2つの老人会を統合

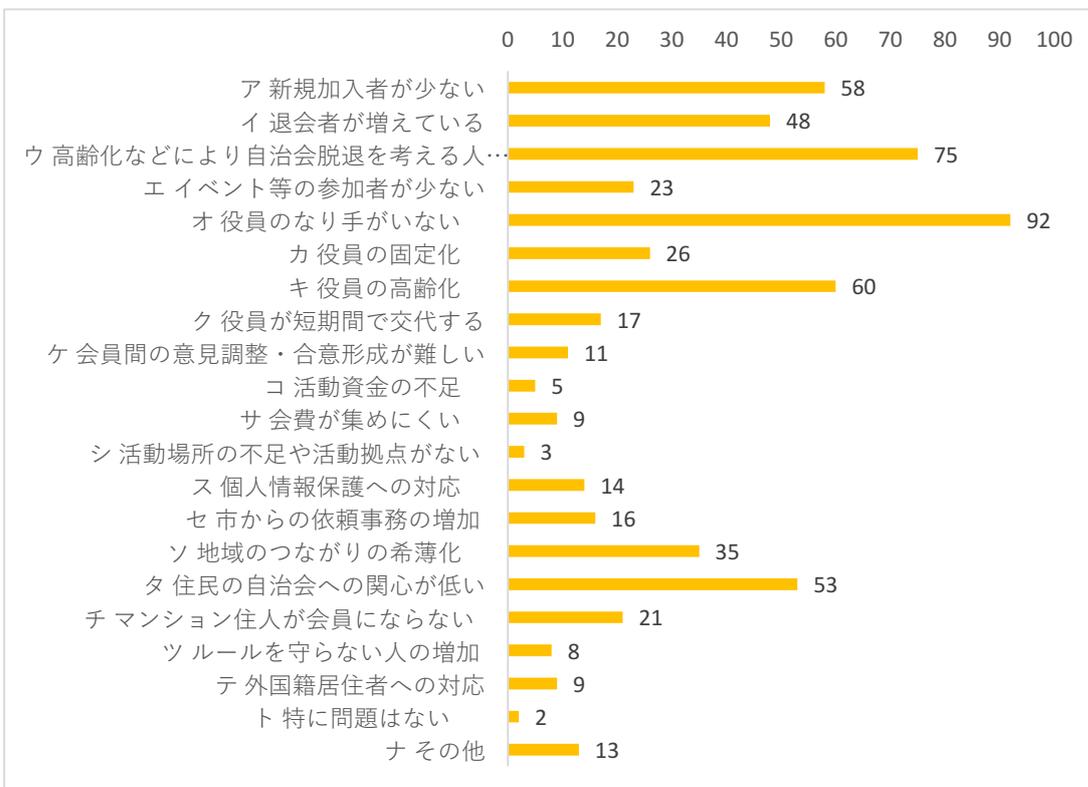
◎加入促進

- ・「入間市自治会優待カード」の利用メリット拡充による新規会員の確保(協賛店が少ない)
- ・市→不動産業者への自治会加入促進の強力(協力)要請または強制力の法制化の検討

◎その他

- ・自治会がパソコンやスマホ等を有効活用し、事務の簡略化をはかる(知識不足、高齢化)
- ・防災街歩き、研修会、防災活動、避難所までの避難経路の確認(専門的知識の必要性)

(4) その他自治会を運営する中で、何が問題だと感じていますか。



(主な問題点)

- 1 (92件) オ 役員のなり手がいない
- 2 (75件) ウ 高齢化などにより自治会脱退を考える人が増えている
- 3 (60件) キ 役員の高齢化
- 4 (58件) ア 新規加入者が少ない
- 5 (53件) チ 住民の自治会への関心が低い
- 6 (48件) イ 退会者が増えている

2 住民の高齢化や若い世代への対応は、自治会の運営において共通の課題となっています。高齢者への対応及び若い世代への対応についてお聞かせください。

(1) 高齢者の会員に対し、何か対応や対策をとっていますか。(複数可)

ア 役員の免除	47件
イ 班長以上の免除	44件
ウ 会費の減額	2件
エ 見守り活動	26件
オ 高齢者の居場所作り	14件
カ その他	29件

(2) 若い世代の会員に対し、何か対応や対策をとっていますか。(複数可)

ア 役員の免除	7件
イ こどもを通じた積極的なコンタクト(誕生、入学、七五三など)	13件
ウ 会議の時間設定(平日の昼間を避けるなど)	53件
エ その他	32件

(3) 若い世代の非会員に対し、何か対応や対策をとっていますか。(複数可)

ア こどもを通じた積極的なコンタクト(誕生、入学、七五三など)	4件
イ 自治会以外の団体(子ども会など)を通してのコンタクト	11件
ウ お祭りなど行事を通しての自治会のアピール活動	45件
エ その他	30件

3 自治会の運営にデジタルツールを使用することについてお尋ねします。

(1) 役員同士の連絡にメールやラインなどの SNS を活用していますか。

回答数	ア 活用している	イ 活用していない	無回答
114	68	44	2
	60%	39%	2%

(2) 活用している場合、使用しているツールは何ですか。

【使用しているツール】

- ・ライン
- ・メール
- ・その他 (YouTube・Garoon (スケジュール資料等共有アプリ)・Google ドライブ・HP 等)

【どのような連絡に使用しているか】

- ・役員間の連絡、情報共有等
- ・役員同士の資料の共有等

(3) 今後の使用の検討について (活用していない場合)

回答数	検討している	検討していない	無回答
44	9	33	2
	20%	75%	5%

(検討していない理由)

- ・回覧及び掲示板で対応
- ・知識がない
- ・電話で対応可能
- ・役員が高齢者なので使用していない
- ・スマホや PC の操作が難しい会員が多い。

(4) 役員同士の連絡以外にデジタル化したいことはありますか。

回答数	ある	ない	無回答
114	28	79	7
	25%	69%	6%

(デジタル化したいこと)

- ・Facebook、自治会報のメール配信
- ・YouTube 動画で防災訓練や市民清掃デーの流れ、説明など
- ・オンライン会議(zoom・Teams)の活用
- ・アンケート(Googleform)の活用、回覧物のメール配信
- ・災害時の安否確認(ツールは検討)
- ・グループメールやラインで情報伝達の方法の改善
- ・HP の立ち上げ(自治会だよりや地域情報の伝達、総会資料の閲覧や総会の議決権)
- ・QR コード等の利用による伝達力の向上及び若い人の参加を促す
- ・電子回覧板等の導入の検討(市の支援が必要)

(5) 独自のホームページの存在に関してお尋ねします。

回答数	HP を既に持っている	HP 作成を検討中	将来的に HP を作る予定	今後も HP は作らない予定	無回答
114	4	4	20	79	7
	4%	4%	18%	69%	6%

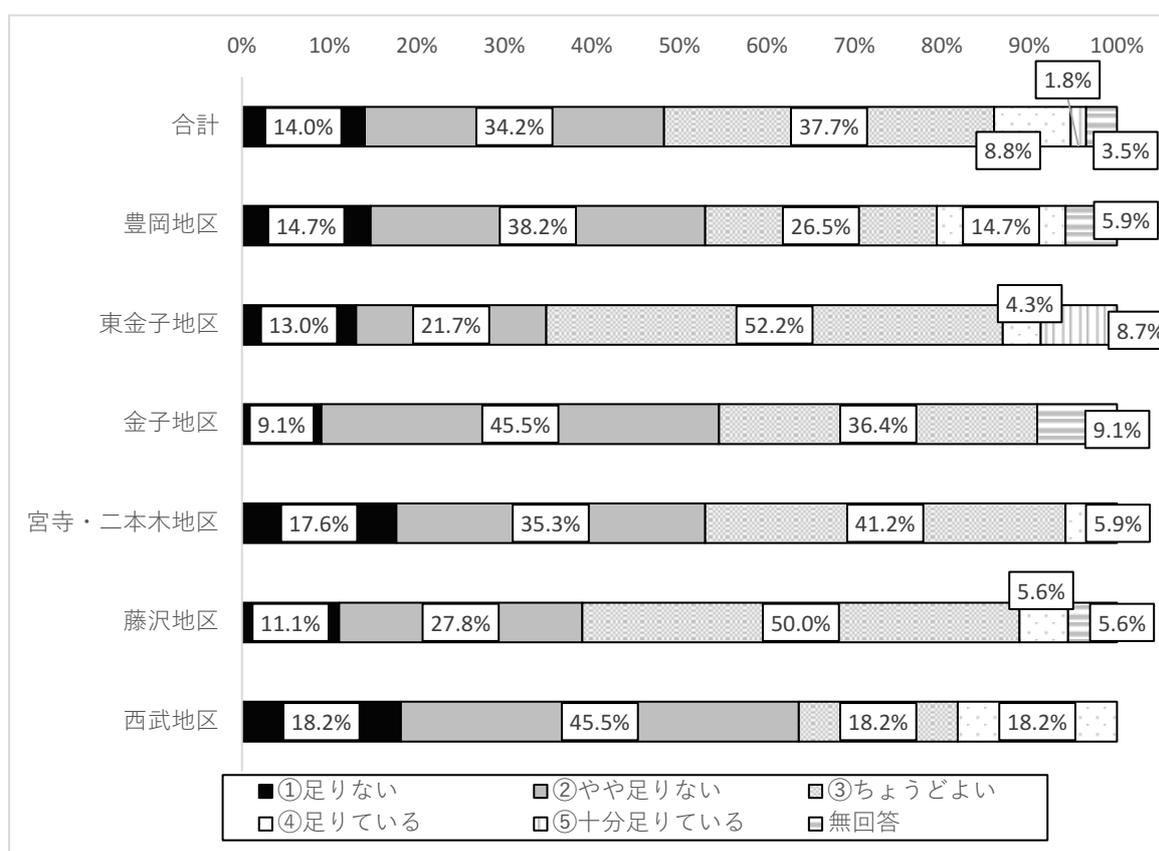
(6) 独自のホームページを持つとした場合、何が問題だと思いますか。(複数可)

回答数	制作や運用方法	ランニングコスト	管理体制	セキュリティ対策	特に問題はない	無回答
183	40	28	52	29	2	32
	22%	15%	28%	16%	1%	17%

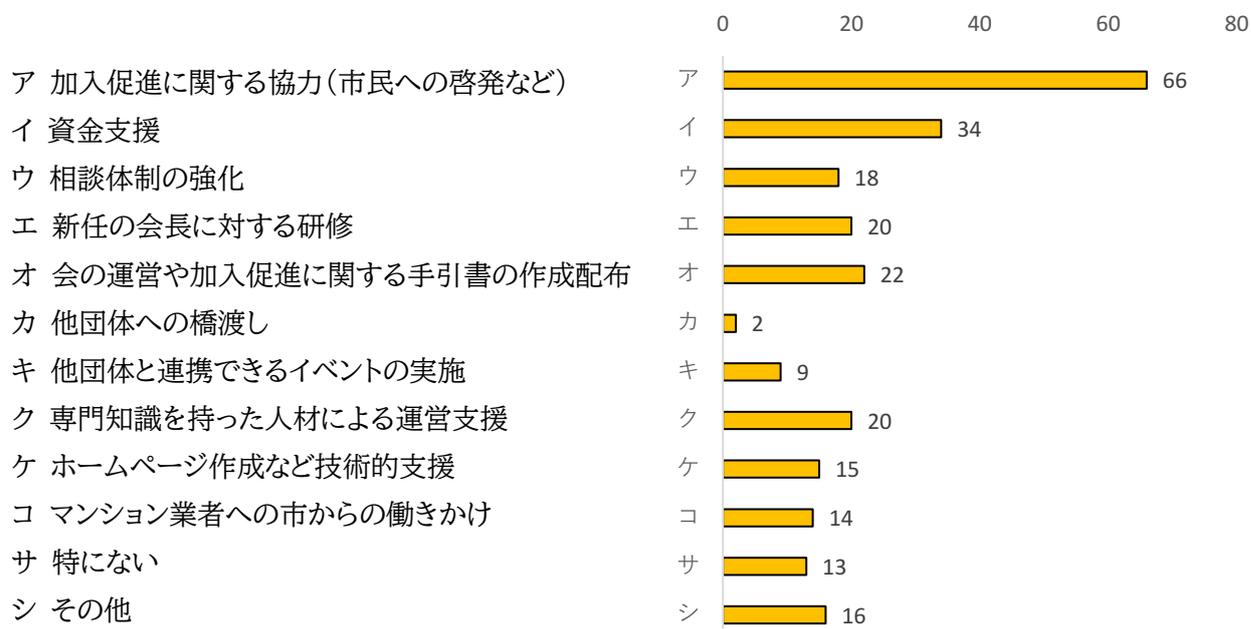
4 市からの自治会に対する支援についてお伺いします。

(1) 市からの自治会への支援についてどのように感じますか。

	回答数	① 足りない	② やや足りない	③ ちょうどよい	④ 足りている	⑤ 十分足りている	無回答
合計	114	16	39	43	10	2	4
		14.0%	34.2%	37.7%	8.8%	1.8%	3.5%
豊岡地区	34	5	13	9	5		2
		14.7%	38.2%	26.5%	14.7%		5.9%
東金子地区	23	3	5	12	1	2	
		13.0%	21.7%	52.2%	4.3%	8.7%	
金子地区	11	1	5	4			1
		9.1%	45.5%	36.4%			9.1%
宮寺・二本木地区	17	3	6	7	1		
		17.6%	35.3%	41.2%	5.9%		
藤沢地区	18	2	5	9	1		1
		11.1%	27.8%	50.0%	5.6%		5.6%
西武地区	11	2	5	2	2		
		18.2%	45.5%	18.2%	18.2%		



(2) 今後、自治会への支援については様々な手法が考えられますが、どのような支援が望ましいですか。(複数可)



(その他の意見)

- ・住民目線で分かりやすい資料の作成
- ・自治会運営に関する講習会、セミナーの開催
- ・自治会加入の義務化に必要性
- ・自治会支援条例の制定・HP 作成支援(初期費用の負担補助等)
- ・自治会地区への都市計画・整備
- ・行事と事務負担軽減
- ・自治会役員へのスキル UP 研修の企画
- ・地域住民を考えた対応
- ・電気代の援助
- ・入間市への転入者及び住宅販売者、不動産業者への強力な働きかけ

(3) 今後、市として自治会への支援に関する実証実験を行いたいと考えていますが、その場合、協力はしていただけますか。 例)防災に関するセミナーの開催など

回答数	協力可能	協力は難しい	無回答
114	91	20	3
	80%	18%	3%

5 自治会集会所(公会堂)についてお聞きします。

(1) 防災や環境の観点から集会所に、何か設備等(例えば太陽光発電設備、蓄電池、ポータブル発電機など)を導入したいと考えていますか。

回答数	考えている	考えていない	無回答
114	32	71	11
	28%	62%	10%

(導入したいツール)

- ・ソーラ式発電設備
- ・トイレ(現在は簡易トイレで対応)
- ・防災グッズの整備
- ・ポータブル発電機
- ・集会所の立替(省エネ施設の導入及び一時避難場所の確保)
- ・蓄電池
- ・防犯カメラ

(2) 上記(1)で導入したいと考えている場合、その理由は何でしょうか。(複数可)

- | | |
|-------------------------------------|------|
| ア 緊急時の一時避難所となっているから | 21 件 |
| イ 再生可能エネルギーの利用など、環境に配慮した取り組みを行いたいから | 5 件 |
| ウ 電気代などランニングコストが削減できるから | 5 件 |
| エ その他 | 12 件 |

6 自治会の運営や、活動課題に対する解決方法等で、独自に工夫している(特徴的な)活動や事例があればお聞かせください。

◎事業・イベント等

- ・イベントで入間市クイズを実施。
- ・月1回、困りごと相談サロンを開設している。(担当は自治会長1人)
- ・月1回おしゃべりサロンを開設している。(自治会長、副会長、民生委員で運営)
- ・自治会館内でのコミュニティ活動(麻雀・踊り・習字・カラオケ等)の充実。
- ・グラウンドゴルフ・ゲートボール活動の実施。
- ・体操教室の実施。
- ・ふれあい広場を月に4回開催して、会員の親睦を計っている。
- ・子ども祭り等開催し、若い親世代を取り込んでいる。
- ・七夕飾り、クリスマスプレゼント配布等の実施。

◎運営方法

- ・情報公開のため、自治会行事や定例会議事録をいつでも見られるようにしている。
- ・毎月「自治会からお知らせ」を作成し、全戸配布している。
- ・年6回開催の班長会議では毎回約 20P の役員資料を作り、自治会活動の詳細を伝え、それにより班長の意識向上を計っている。
- ・事業を実施した時は写真付きの事業報告書を作成・保管し班長会議で報告。
- ・加入世帯が少ないため、行事等の場合は、世帯1名以上の参加・協力を依頼。
- ・ボランティアの確保が不十分であり、参加者の謝礼(カード)を導入。

◎防災・防犯活動

- ・防犯・防災面から夜間団地内パトロール実施。
- ・台風、大雪等気象情報発令時、連絡網で緊急集合、対策実施(自主防災会)
- ・夜間パトロール、小学生登校見守り、防犯カメラ録画チェック(月1回)、防犯キャンペーン参加。
- ・防災訓練(安否確認訓練)について、自治会未加入者にも案内チラシを作成し、配布。それにより8割以上タオルの取り付けの安否表示があった。

◎高齢者対策

- ・高齢者介護家族等への役員免除。
- ・高齢者支援(生活面のサポート)。
- ・1人暮らし高齢者見守りや子育て支援、認知症カフェの実施。
- ・町内の老人会協力による高齢者世帯・一人暮らし世帯への見守り活動。

- ・R3より居住者の高齢化に伴う日常生活を送る上での不安解消(買い物ゴミ出し)を支援するため、「お助け会」を発足。
- ・コロナ禍で高齢者を対象に「小さな体操の会」開催。※猛暑と感染拡大で休止中
- ・民生委員と協力し、一人暮らしの高齢者訪問、同一班員への見守りを依頼。
- ・公民館を利用し、老人会や民生委員の協力のもとサロンを開設(月1回)。
- ・介護サービス事業所(杜の家あい)と協力した認知症サポーター対応。
- ・高齢者(75歳以上)の役員免除。

◎環境美化活動

- ・公園(フラワーパーク)を毎日清掃。
- ・年4回の資源回収。
- ・不老川沿い遊歩道の草刈りを年2回にわたり、自治会役員、青少年健全育成会、小中学校の先生方、生徒の合同で実施している。

7 コロナ禍において、独自に工夫した活動や事例、事業等見直した点があればお聞かせください。

◎行事関係

- ・自治会費の削減・免除
- ・3年ぶりに恒例のグラウンドゴルフ大会を開催。(懇親会は実施せず、出費減)
- ・敬老会開催中止に代えて、記念品の配布とした。
- ・3年間夏祭りができなかったため、クリスマスに全会員対象の抽選会を実施。
- ・夏祭りは人数制限し、体温・消毒・換気に注意して進めた。
- ・行事内容の見直し(有志による協力と専門業者との取引で開催)。
- ・夏祭りを小学生以下で開催した。

◎運営関係

- ・自治会総会への出席自粛依頼、出席者と欠席者委任状を併せて決定事項を決議した
- ・総会役員会の人数制限等。
- ・総会の書面開催。
- ・区費の集金をコロナが落ちついた時期に変更した。
- ・防災用品の購入、敬老の日に高齢者への還元、一部寄付金の自治会費からの支払い等、会員に会費の使い方が具体的にわかる方法を一部導入。

◎防災関係

- ・自主防災会について、自分たちができる訓練に集約し、炊き出し訓練は行わなかった。
- ・防災訓練は安否確認して、密集密接を避けた訓練の実施。

◎その他

- ・初期のコロナ感染症発生時、全世帯にマスクの配布。
- ・77歳以上高齢者への慰労品提供
- ・自治会費の余り分について、抽選会を行い還元した。

【調査項目3】

(1)その他、自治会と市のあり方について、御意見、御要望があればお聞かせください。

◎市の姿勢について

- ・住民主体の地域特色を考慮した企画、市周辺地域の特色を考えた策が必要。
- ・市からの自治会へのトップダウンではなく、各地区自治会の問題点をボトムアップできる方向性が出てくるとよい。
- ・住民(個人)から市(地域)に対する苦情・依頼を言われた場合は、市として自治会を通してほしい旨を伝え、自治会をアピールできる形を極力とって対応してほしい。
- ・市職員の自分の自治会への積極的参加。
- ・自治会として市に相談したいとき、今まで通り、いつでも親身になって応じてほしい。
- ・自治会は行政の方向性を地域の皆さんに周知・理解を促す役割を担っている。行政を身近に感じ、地域組織が生き生きと活動できるよう情報提供と身近で意見交換の機会が必要。
- ・各自治会からの要望に応じることは難しいと理解するが生命に関わる点については至急解決していただきたい。

◎市からの書類について

- ・市への提出書類について、時間をかけず作成できる様簡略化の検討をお願いしたい。
- ・市からの郵送物の一括化、メール等での発送(提出書類や会議等の出欠を SNS の利用等)。

◎支援制度について

- ・自治会協力員制度を作る(有償)。
- ・市からの補助金制度の充実。
- ・市報等の回覧を電子化する際の補助制度(高齢者世帯への説明・購入資金の援助)。

◎自治会同士の交流について

- ・集団退会者対策や成果のあった自治会との事例報告など情報提供の場があると助かる。
- ・個別の自治会との意見交換の場を設けていただきたい。
- ・連合区長会「副区長代表者会議」の企画を開催し、区長への担い手づくり、モチベーションUPをねらう(講演会・市長との情報交換・各副区長との交流等)。

◎加入促進について

- ・自治会促進に関する協力や大切さの周知(高齢による自治会からの退会を防ぐ)
- ・不動産への依頼(新規居住者へ自治会加入の依頼をしてほしい)
- ・連合区長会の自治会連合だよりを発行し、市民へのPR、自治会加入促進をはかる。
- ・若者が自治会に参加しやすい方法や災害時での自治会の重要性など、市と自治会との積極的な連携を求める。
- ・市が先導して退会者対策への取り組みをしていただきたい。
- ・古い体質の自治会から、近代的なボランティア活動に切り替えるべき。古い体質の長老支配から若手が参加しやすい自発的ボランティアに切り替えるべき。
- ・住民の自治会への意識改革が必要。
- ・新しい集合住宅ができてしまってから自治会の立ち上げハードルが高い、管理組合の発足と同時に自治会が立ちあがるように市で積極的に後押しすべきではないか。
- ・自治会加入率が 50%を切る勢いで会員減少が進んでいる。危機意識を持って対応しないと自治会の崩壊となるおそれがある
- ・市報の業者委託等の自治会員の減少につながるような施策はやめてほしい。

◎防災関係

- ・防災訓練について、自治会自主防災会メンバーには講習会等での訓練を受講する機会がほとんどない。市役所が市職員に実施する訓練に自治会メンバーが参加できれば、防災知識の向上、市と自治会の防災に関する共通の認識が得られる等が図れると思う。
- ・防災訓練へ出席する職員は、事前に必要な情報と知識を習得していただきたい。
- ・避難所訓練ゲーム(HUG)が危機管理課にあれば、使用するのはいかがか。
- ・集会室の防災設備等は、災害が発生したときには必要となるため、市が導入すべきだと考える。